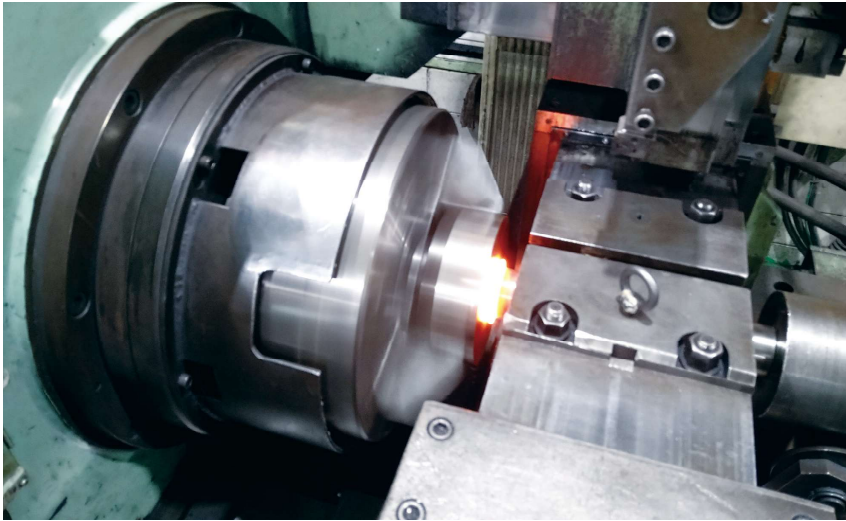


## 精密工業株式会社

二つの金属部材を接合する  
摩擦接合の受託加工に強み

納期相談  
企画力自信有  
コスト相談  
メイドインジャパン  
試作可小ロット  
量産対応



摩擦接合の様子

## 主な事業内容

ロールシャフトの製造、  
摩擦接合の受託加工

## 主な取引先(納入先)

フィルム製造装置、段ボール製造機、  
産業用機械など各種メーカー

## 主な製品

フィルムや段ボールの製造装置に  
使われるロールシャフトなど

業務内容  
摩擦接合で製品の品質  
向上やコスト減に貢献

精密工業は、昭和47年に創業・設立した当初、船用エンジンの冷却配管を製造していた。昭和50年に導入した摩擦接合機を用いた二つの事業が軌道に乗り、現在はロールシャフトの製造と摩擦接合の受託加工を主に手がける。

ロールシャフトは、複数台保有する各種大型装置により「材料手配から熱処理、切削・研磨、めっき、鏡面仕上げまで一貫対応できる」と濱田孝志社長は力を込める。摩擦接合は二つの金属部材を摩擦熱と圧力により、母材と同等の強度で接合させる技術。製品の品質向上やコストの大幅減に役立ち、同部門では多様なサイズの需要にも対応している。

強み  
新製品の開発や試作、  
立ち会い試験に対応

ロールシャフトは、製作前の段階で改善案の提案もできるため、顧客は素早く対策が可能で効率良く製造できる。鏡面加工品の検査では、細かい傷まで視認できるように訓練を重ねた検査員による品質管理を徹底する。

二つの金属材料のうち片方を回転させ

ながら接触加圧して接合させる摩擦接合。同社では、この技術を応用した新規製品の開発や試作、立ち会いテストにも対応できる。切削・研磨など加工まで含めた受注も協力会社を活用することで大量受注にも滞りなく出荷できる。顧客と信頼関係を築いたうえで比較的安価に、納期通りに進める強みがある。

品質管理  
確立した圧接条件や  
ノウハウを量産に活用

摩擦接合でコストダウンや機性能性向上につながるのには、大きなP/R材料だ。摩擦接合の接合部では母材同等の強度を保有し、削り出すよりも材料代・加工費を抑えることが可能で、1本から対応できる。材質は鉄系のほばすべてに対応可能で、溶接が難しい鉄系と非鉄系素材との接合も得意にしている。

また、顧客の新規製品開発や試作に対して、設備とスタッフを提供する立ち会い試験も好評だ。設備の代理店販売も担っているため、当該製品が量産化した際は製品に適した装置を提案し、立ち会いで確立した圧接条件やノウハウを量産に活用できる。設備導入までの生産を請け負うことも可能だ。

## 社長あいさつ

代表取締役社長  
濱田 孝志さん

摩擦接合の受託加工を始めて46年が経過します。その間多くのご相談をお受けし、一つひとつクリアするうちに多くの実績とノウハウを積み重ねてきました。設備9台と熟練のスタッフが対応いたしますのでお気軽にお問い合わせください。工場見学も受け付けております。

## 主な保有設備

- 汎用旋盤(最大φ770×4,000L)  
大日金属工業製 5台
- NC旋盤(最大φ1,200×6,000L)  
大日金属工業製 9台
- 円筒研削盤(最大φ630×4,500L)  
TOS A.S.製 3台
- 鏡面研削盤(最大φ1,200×1万L)  
ミラック製 4台
- 自動摩擦圧接機FF-30~120  
(S-C材φ110相当×2,800Lまで接合可能)  
日東制機製 9台

ISO 9001

住所 / 〒559-0031  
大阪市住之江区  
南港東3-2-36

TEL / 06-6612-5571

FAX / 06-6612-5577

創業 / 昭和47年12月

設立 / 昭和47年12月

資本金 / 1,500万円

従業員 / 48名



摩擦接合の製品例



摩擦接合品のサンプル



<https://www.seimitsu-kogyo.co.jp/>